

<認知症対応型共同生活介護用>  
<小規模多機能型居宅介護用>

## 評価結果報告書

### 地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	8
1. 理念の共有	1
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	2
5. 人材の育成と支援	0
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	1
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	0
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	5
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	1
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	0
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	3
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	6
1. その人らしい暮らしの支援	4
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	20

事業所番号	1493000325
法人名	株式会社 ソラスト
事業所名	グループホーム ソラストつきみ野
訪問調査日	令和3年3月29日
評価確定日	令和3年3月31日
評価機関名	株式会社 R-CORPORATION

#### ○項目番号について

外部評価は20項目です。

「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。

「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。

#### ○記入方法

[取り組みの事実]

ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。

[次ステップに向けて期待したい内容]

次ステップに向けて期待したい内容について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

#### ○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

令和 2 年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1493000325	事業の開始年月日	平成29年3月1日	
		指定年月日	平成29年3月1日	
法人名	株式会社 ソラスト			
事業所名	グループホーム ソラストつきみ野			
所在地	( 242-0001 ) 神奈川県大和市下鶴間12番地2			
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護  <input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	登録定員	名	
		通い定員	名	
		宿泊定員	名	
		定員計	18名	
		ユニット数	2 ユニット	
自己評価作成日	令和3年3月24日	評価結果 市町村受理日	令和3年4月15日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

「グループホーム ソラストつきみ野」は、閑静な住宅街の中にあり地域の方々に支えられ運営させて頂いております。会社全体の理念である一人一人の生活に合わせた介護をさせて頂いております。特に食事には力を入れており管理栄養士の作ったメニューに基づき、各月に「お寿司」を提供させて頂いたり、館内のイベントとしてバイキング形式したり、ご入居者様のお誕生日ケーキを一緒に作ったりして、ご入居者様にも大変喜ばれております。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 R-CORPORATION		
所在地	〒231-0023 横浜市中区山下町74-1 大和地所ビル9F		
訪問調査日	令和3年3月29日	評価機関 評価決定日	令和3年3月31日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

●この事業所は株式会社ソラストの運営です。同法人は医療事務の教育機関からスタートし、医療・介護・保育・福祉サービス等の幅広い分野で全国に事業を展開しています。介護事業では「自立支援とトータルケア」の理念に基づいて、首都圏、関西圏、名古屋地区の1都2府5県で展開し、在宅系サービスから居住系サービスまで、様々な利用者のニーズに合わせたサービスを提供しています。神奈川県内では横浜市に5ヶ所と大和市に1ヶ所の6事業所を運営しています。ここ「グループホームソラストつきみ野」は小田急線「相模大野駅」1番乗り場からバスに乗り「上鶴間本町九丁目」下車して徒歩2分程の住宅地の中に位置し、近くにある住宅展示場は散歩コースにも取り入れています。

●法人の理念「一人ひとりの生活を豊かにし、希望のある未来づくりのために歩み続けます」を踏まえて事業所独自の目標を作成しています。管理者は、利用者の残存機能を1日でも長く維持して日常生活を送れるよう支援するをモットーとし、ケア会議の中で日々の記録や職員の気づきを話し合い、利用者一人ひとりのADLやIADLの現状を共有しながら、居室担当者を中心に一人ひとりに応じて必要な支援を行っています。

●今年は新型コロナウイルスの流行に伴い、感染症拡大防止のために家族や友人の面会をはじめ、外出や地域交流などの中止が余儀なくされ、散歩や季節の外出行事なども自粛せざるえない状況下となっていますが、様々なレクリエーションやアクティビティを取り入れながら生活にハリをもてるようにしています。

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	グループホーム ソラストつきみ野
ユニット名	ユニット1

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3, たまに 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	年度ごとに事業所目標を作成し毎日の朝の申し送り等で共有し、半年に一度個人面談も行い、実践出来ているかの確認も行っております。	年度ごとに職員で話し合い事業所目標を作成しています。事業所目標は毎日の申し送りなどで共有している他、半年に1度の個人面談時に振り返りを行い、年度初めに作成した目標に沿ったケアが実践できているか確認を行っています。	今後の継続
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会に加入し、回覧板等を通じて地域の情報を頂いております。ボランティアに関しては、現在は新型コロナウイルス感染症の影響で受け入れはしていませんが、以前は押し花等のボランティアの方が来訪されておりました。	自治会に加入しており、回覧板や運営推進会議でも地域の情報をいただき、極力行事に参加するようにしています。現在は新型コロナウイルスの影響で地域行事の開催やボランティアの受け入れを中止が余儀なくされ、地域の方と交流の機会はありませんが、散歩時や職員の出退勤に挨拶を交わしています。	今後の継続
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	事業所としては出来ておりません。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	現在は、書面での対応となっておりますが、2か月に一度、運営推進会議を開催し、メンバーの大和市役所介護保険課や地域包括支援センターや自治会長や民生委員やご家族様に報告し参加者からアドバイスを頂き、サービスの向上に活かしています。	大和市役所介護保険課職員、地域包括支援センター職員、自治会長、民生委員、家族の参加で2ヶ月に1回開催しています。事業所の現状や活動報告に対する意見交換を行った後に地域の情報をいただき、サービスの向上に活かしています。新型コロナウイルスの影響で、現在は一堂に会しての開催ではなく、書面にて開催しています。	今後の継続
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	相談や質問がある場合は、大和市役所介護保険課の方とメールや電話にて連絡をしています。生活保護受給者の受け入れも行っている為、大和市生活援護課の担当者とも日頃から生活状態の報告等を行っております。	研修や講習会の案内が届いた際には職員にも内容を周知し、参加を促しています。相談や不明点が生じた際には大和市役所介護保険課職員にメールや電話にて連絡を取るなどして、実情を把握していただいています。また、生活保護受給者の受け入れを行っている関係で生活援護課とも日頃から連絡を取っています。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束ゼロのマニュアルを作成し現在は書面にて勉強会を行っております。事業所内にも身体拘束の指針等を掲載しております。また、「身体拘束廃止委員会」を3か月に1回開催しております。	身体拘束ゼロのマニュアルを作成しており、マニュアルに基づき研修や勉強会を開催しながら、身体拘束よって起こりえる弊害などの理解を深めています。さらに、身体拘束廃止委員会を3ヶ月に1回開催し、事例を持ち寄ったり、利用者の対応において身体拘束の必要性の有無を話し合っています。	今後の継続
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	現在は、書面にて勉強会を行い、知識を得て虐待防止に努めております。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	現在は、書面にて勉強会を行い、知識を得て個々の必要性を関係者と話し合い、活用できないか提案しております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時には、十分に説明をし疑問点等ないかも確認し、同意のもと署名と捺印をもらっております。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	毎年、ご家族様にアンケートを実施し、結果を事業所内に掲示する等全職員がご家族様からの意見や要望を把握出来る様にしています。また、全ご家族様に毎月状態の報告書をお送りしています。	契約時に重要事項説明書に明記している苦情相談窓口について説明しています。家族からの意見や要望については、来訪時や電話連絡した際に近況報告と合わせて話を聞いています。家族からの意見や要望は申し送りや連絡ノートで情報を共有しながら、迅速な対応を心がけています。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	朝の申し送りの時間や、現在は書面にての対応になっておりますが毎月のユニット会議で意見交換を行っています。また年2回個別に面談も行い意見交換を行っております。	職員の意見や提案は出退勤時、申し送り、業務中、休憩時間など、随時話しを聴く機会を設けています。毎月のユニット会議で職員から挙げた提案について意見交換を行い、業務やケアに反映させています。また、年2回の個別面談も実施しています。	今後の継続
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	年に1回、昇給に関しての面談を行い、給与水準の向上に努めております。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内外の研修に参加出来る様に声かけを行っております。法人内の研修に関しては、パソコンを使用した研修も行っております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	コロナウイルス感染症の為、グループホーム連絡会も参加が出来ていない状態です。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご入居前にアセスメントを行い、ご入居者様の趣味嗜好を確認する様にしており、ご入居前に体験入居も出来る旨を説明しております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご入居前のアセスメントで、ご家族様の要望なども聞くようにしています。また、ご入居後もご入居者様のご様子を電話や手紙で報告しています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご入居前のアセスメントにて医療関係などの把握も行い、支援しています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	洗濯物を干したり畳んだりして頂いたり掃除等のお手伝いを無理のない様にして頂いています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	毎月、ご家族様にご入居者様の生活の様子を手紙にてご報告させて頂いており、事業所で解決できない場合などはご家族様に相談しています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	現在は新型コロナウイルス感染症の為、面会は制限をさせて頂いていますが、ご家族様や友人の来訪も多くあります。また、面会が難しい場合は、お電話やタブレットを使用しテレビ電話などをして頂き、馴染みの関係が継続できるように支援しています。	契約時には差し支えない程度に入居したことを友人などにも知らせてくださいと伝えていますが、現在は新型コロナウイルス蔓延のため面会は制限していますが、コロナ禍になる以前は友人や家族の来訪も多くありました。現在はタブレットを使用したオンライン面会にて、馴染みの関係を継続できるよう支援しています。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	食堂の共有スペースにソファも設置しており、食事以外の時は、ソファにて過ごす方も多くお話しやレクなどをさせて頂いています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	ご希望やご相談があった場合は、支援させて頂いています。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご入居前のアセスメントで、ご本人やご家族様から思いや希望などの聞き取りを行い、ご入居後は、居室担当を中心に生活態度や変わってきた事などを連絡ノートに記載し職員に情報共有を行っています。	入居前のアセスメントで本人、家族、在宅時のケアマネージャーから生活歴、既往歴、趣味嗜好、暮らし方の希望について聞き取りを行いアセスメントシートを作成しています。入居後も日々の関わりの中で本人が発した言葉や様子など、連絡ノートに記載し、居室担当者を中心に情報共有を行いながら、その人の思いや意向の把握に努めて支援しています。	今後の継続
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご入居前のアセスメントで生活歴や生活環境の把握に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	定期的にモニタリングを実施し心身状態の把握に努めており、支援経過記録にて流れが分かるように現状の把握に努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	計画作成担当者や介護職員やご家族様の意見を取り入れ、定期的に担当者会議を開催し介護計画の作成や見直しを行っています。	入居時のアセスメントで得られた情報を基に初回の介護計画を作成し、1ヶ月程度を目安に情報収集に努め、得られていた情報と差異が無いかなど確認しています。その後は定期的に開催している担当者会議で職員の気づきや記録を持ち寄りながら、ケアの課題や支援内容についてモニタリングとカンファレンスを行い、現状に即した介護計画を作成しています。	今後の継続	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の記録は個別に記録し担当者会議や毎月のユニット会議で各ご入居者様に関して話し合いを行い、介護計画の見直しにも活かしています。			
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	美容ボランティアなどを受け入れおり、介護プラン以外のサービスや支援を行っています。			
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	一部のご入居者様ですが、ご本人の状態安定の為、外部の病院に受診する等しています。			
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	現在、ご入居者様全員が事業所の提携医を主治医としています。内科は月に2回の往診の他、週に2回看護師の往診もあります。眼科と歯科は初めに無料検診があり、必要な方は契約しています。	入居時に事業所の協力医療機関について説明し、本人と家族の希望を尊重したうえで主治医を決めていただくようにしています。現在は利用者全員が事業所の提携医を主治医として、月2回の訪問診療と週2回看護師の往診による健康管理を受けています。眼科と歯科医については、入居時の初回無料検診を受け、必要な方のみ契約して往診を受けています。	今後の継続	

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	協力医療機関である「中央林間東クリニック」の看護師が週に2回往診があり、緊急時など24時間の連絡体制も整えています。			
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	ご入院などされた場合は、病院関係者やご家族様と密に連絡を取り合い、情報交換や相談を行っています。			
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ご入居の契約時に重度化や終末期における対応について指針を説明しています。ご家族様の希望などが整った場合は看取りを行っています。その場合は、医師、家族、介護者の三者で話し合いを行い、看取り契約を行います。	入居時は「重度化や終末期における指針」に沿って、重度化した場合や終末期の対応を説明しています。事業所で家族の希望、医療行為を必要としない場合のみ看取りを行うとし、家族、医師、管理者と話し合いの場を設けチームとして支援に取り組んでいます。		今後の継続
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	大和消防本部にて全職員救命講習を受講し施設内でも定期的に勉強しており実践力を身に付けています。			
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年に2回、防災訓練を実施しています。内1回は消防署立ち合いのもとで消化器の使い方等の指導を受けています。また、自治会主催の防災訓練にも職員が参加し地域との協力体制を築いています。	火災想定を中心とした訓練を年2回実施しています。うち1回は消防署立ち合いの下に消火器の使用方法なども含めた訓練を予定していますが、今年はコロナ禍のため消防署の立ち合いはありませんでしたが、資料などを基に防災設備や機器の取り扱い方法の確認もおこないました。また、地域の防災訓練に参加するなど、地域との協力体制も確立できています。		今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	言葉かけや対応に関しては定期的に勉強会を行ったり、ユニット会議や朝の申し送りの際に話し合いをし、全職員統一出来る様にしています。	入職時研修や入職後も定期的な研修を行うとともに、申し送りやユニット会議などで、接遇・マナー・倫理について話し合う機会も設けています。利用者一人ひとりの人格や個性を尊重し、尊厳や自尊心を傷つけないよう、言動や対応に十分留意しています。また、個人情報や守秘義務についても周知徹底しています。居室への入室、排泄支援を行う際にはプライバシーや羞恥心に配慮して対応しています。	今後の継続	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご入居者様の思いや希望を出来る限り受け入れられる様に心がけており、ご入居者様自身が決定出来る様に支援しています。			
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご入居者様一人ひとりが居室にて過ごされたり食堂のソファにて過ごされたり、希望にそって支援しています。			
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	美容等の散髪にも来て頂いており、カラーやパーマなどの希望があるご入居者様に関しても行って頂いています。			
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食事は、業者から食材が配達され温かいものは温かく、冷たいものは冷たく、美味しい状態で召し上がれるように配慮しながら提供しています。毎月、イベント食が4種類選べるようになっており、お好きなものを選んで頂き食事が楽しみになるように工夫しています。	食材はレシピ付きで業者から発注し、職員が調理を行い、可能な方には食器吹きやテーブル拭きを手伝っていただき、残存能力の維持につなげています。毎月イベント食を取り入れており、数種類のメニューから各々に好きな物を選んでいただくなど、食事が楽しみなものになるよう支援しています。コロナ禍のため外食にお連れすることはできていませんが、時には出前などを活用して目先を変えた食事提供を行っています。	今後の継続	

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	全ご入居者様の毎食の食事量や水分量も確認し記録に残しています。また摂取量が少ないご入居者様には積極的に声掛けし、摂取して頂ける様に支援しています。			
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	全ご入居者様とも、毎食後に口腔ケアを行い、口腔内の観察を行っています。また、定期的に訪問歯科の往診も受けています。			
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表を参考に一人ひとりの排泄パターンを把握し定期的な声掛けや誘導でトイレでの排泄を支援しています。おむつの方に関しては、パット交換で対応しています。	自立している方、介助が必要な方問わず、全員の排泄チェック表をつけながら一人ひとりの排泄パターンの把握に努めています。タイミングを見計らった声かけやトイレ誘導を行い、トイレの自立に向けた排泄支援を心がけています。排泄支援を行う際には、羞恥心にも十分配慮して対応しています。		今後の継続
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄チェック表にて排便観察もを行い、便秘の方等には、主治医の指示を仰ぎ、下剤の内服をして頂き便秘の予防に取り組んでいます。			
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	週に2回入浴支援をしています。リフト浴も完備しており、ご入居者様全員が入浴出来ています。入浴を拒否する方には、時間や人を変えたり好きな音楽をかけたりして個々に応じた入浴を支援しています。	週2回の入浴を基本とし、安全に入浴していただくためにも事前にバイタルチェックを行ったうえで、本人の気分も考慮しながら入浴を促しています。また、入浴は皮膚疾患やアザなどの早期発見につながることも踏まえて、衣服の着脱時には身体チェックも欠かさず行っています。入浴拒否のある方は、無理強いせず、時間や日時を変えて声かけするようにしています。		今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりの生活スタイルを把握し、日中に関しても食後などにも休んで頂ける様に支援しています。		
47		○服薬支援 一人ひとり使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	内服薬に関しては、主治医や薬剤師と常に連絡を取り合い、ご入居者様の体調に合わせて支援しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人ひとりの出来る事を大切にしてお手伝いやレクリエーション等も楽しんで頂ける様に支援しています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	コロナウイルス感染症の為、積極的な外出支援は出来ませんが、個別での散歩の対応等出来る限り外の空気に触れられる様に支援しています。また、ご家族様の協力を得て車で外出される方もいます。	天気や気候の良い日には、個別で散歩や外気浴にお連れして外気に触れる機会を設けていますが、季節の外出支援や人が集まる場所への外出や外食支援は感染症拡大防止のため自粛しています。利用者によっては家族の協力を得て、車で外出されている方もいます。	今後の継続
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	少額ですが、ご本人様ご自分で持っている方もおります。購入希望等があった場合は、ご家族様にも相談し購入しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話に関しては、各ユニットの事務所に設置しており、利用して頂いています。手紙についてもお預かりさせて頂き、投函する等支援しています。			
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有リビングは段差もなく全居室が見渡せ開放的な空間になっています。廊下の壁には、イベント時の写真やご入居者様と一緒に作成した作品も掲示させて頂いています。また食堂内にご入居者様が寛げる様にソファを設置し居心地よく過ごせる空間作りをしています。	利用者の動線の妨げにならないよう、棚などの家具は設置せず、車椅子を使用している方も移動しやすいよう配慮されています。壁には季節感を感じられるよう季節の物を飾ったり、イベント時の写真、利用者で作成した作品などを飾っています。現在は感染症対策のため、空気清浄機や加湿器の使用に加え、アルコール消毒も定期的に行っています。		今後の継続
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	各ユニットに共有スペースを確保しご入居者様一人ひとりが思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしています。			
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	各居室は全室個室となっており、ベッドとエアコンと防炎カーテンを完備しています。それ以外の物は一人ひとりが使い慣れた物を持ち込んで頂き、落ち着いて生活できるような空間作りを支援しています。	ベッド、カーテン、エアコン、クローゼットが完備されていますが、それ以外の家具や調度品については、その方にとって馴染みの物や使い慣れた家具を持ち込んでいただくよう伝えています。居室はプライベートな空間でもあり、馴染みの物に囲まれた空間で落ち着いて過ごせる居室作りがされています。		今後の継続
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	一人ひとりの状態により、居室のレイアウトの変更や環境整備を行い安全かつ出来る限り自立した生活が送れる様に工夫しています。			

# 目 標 達 成 計 画

事業所

グループホーム  
ソラストつきみ野

作成日

令和3年3月24日

〔目標達成計画〕

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	3	まだ、地域の人々に向けて認知症の人の理解や支援の方法等が活かしていない。	地域の方々に今まで実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を活かす。	コロナウイルス感染症が落ち着いたら、地域の方々に向けたイベントを企画し説明会を行う。	1年
2	14	まだ、同業者と交流する機会が作れていない。	同業者と交流する機会を作る。	パソコンを使用したオンラインで交流を図る。	6か月
3	49	日常的な外出支援が出来ていない。	日常的な外出支援が出来る様にする。	コロナウイルス感染症が落ち着いたら、外出レク等も増やし、日常的な外出が出来る様に支援する。	1年

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。

事業所名	グループホーム ソラストつきみ野
ユニット名	ユニット2

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3, たまに 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	年度ごとに事業所目標を作成し毎日の朝の申し送り等で共有し、半年に一度個人面談も行い、実践出来ているかの確認も行っております。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会に加入し、回覧板等を通じて地域の情報を頂いております。ボランティアに関しては、現在はコロナウイルス感染症の影響で受け入れはしていませんが、以前は押し花等のボランティアの方が来訪されておりました。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	事業所としては出来ておりません。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	現在は、書面での対応となっておりますが、2か月に一度、運営推進会議を開催し、メンバーの大和市役所介護保険課や地域包括支援センターや自治会長や民生委員やご家族様に報告し参加者からアドバイスを頂き、サービスの向上に活かしています。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	相談や質問がある場合は、大和市役所介護保険課の方とメールや電話にて連絡をしています。生活保護受給者の受け入れも行っている為、大和市生活援護課の担当者とも日頃から生活状態の報告等を行っております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束ゼロのマニュアルを作成し現在は書面にて勉強会を行っております。事業所内にも身体拘束の指針等を掲載しております。また、「身体拘束廃止委員会」を3か月に1回開催しております。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	現在は、書面にて勉強会を行い、知識を得て虐待防止に努めております。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	現在は、書面にて勉強会を行い、知識を得て個々の必要性を関係者と話し合い、活用できないか提案しております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時には、十分に説明をし疑問点等ないかも確認し、同意のもと署名と捺印をもらっております。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	毎年、ご家族様にアンケートを実施し、結果を事業所内に掲示する等全職員がご家族様からの意見や要望を把握出来る様にしています。また、全ご家族様に毎月状態の報告書をお送りしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	朝の申し送りの時間や、現在は書面にての対応になっておりますが毎月のユニット会議で意見交換を行っています。また年2回個別に面談も行い意見交換を行っています。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	年に1回、昇給に関しての面談を行い、給与水準の向上に努めております。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内外の研修に参加出来る様に声かけを行っております。法人内の研修に関しては、パソコンを使用した研修も行っております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	コロナウイルス感染症の為、グループホーム連絡会も参加が出来ていない状態です。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご入居前にアセスメントを行い、ご入居者様の趣味嗜好を確認する様にしており、ご入居前に体験入居も出来る旨を説明しております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご入居前のアセスメントで、ご家族様の要望なども聞くようにしています。また、ご入居後もご入居者様のご様子を電話や手紙で報告しています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご入居前のアセスメントにて医療関係などの把握も行い、支援しています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	洗濯物を干したり畳んだりして頂いたり掃除等のお手伝いを無理のない様にして頂いています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	毎月、ご家族様にご入居者様の生活の様子を手紙にてご報告させて頂いており、事業所で解決できない場合などはご家族様に相談しています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	現在はコロナウイルス感染症の為、面会は制限をさせて頂いていますが、ご家族様や友人の来訪も多くあります。また、面会が難しい場合は、お電話やタブレットを使用しテレビ電話などをして頂き、馴染みの関係が継続できるように支援しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	食堂の共有スペースにソファも設置しており、食事以外の時は、ソファにて過ごす方も多くお話しやレクなどをさせて頂いています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	ご希望やご相談があった場合は、支援させて頂いています。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご入居前のアセスメントで、ご本人やご家族様から思いや希望などの聞き取りを行い、ご入居後は、居室担当を中心に生活態度や変わってきた事などを連絡ノートに記載し職員に情報共有を行っています。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご入居前のアセスメントで生活歴や生活環境の把握に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	定期的にモニタリングを実施し心身状態の把握に努めており、支援経過記録にて流れが分かるように現状の把握に努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	計画作成担当者や介護職員やご家族様の意見を取り入れ、定期的に担当者会議を開催し介護計画の作成や見直しを行っています。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の記録は個別に記録し担当者会議や毎月のユニット会議で各ご入居者様に関して話し合いを行い、介護計画の見直しにも活かしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	美容ボランティアなどを受け入れおり、介護プラン以外のサービスや支援を行っています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	一部のご入居者様ですが、ご本人の状態安定の為、外部の病院に受診する等しています。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	現在、ご入居者様全員が事業所の提携医を主治医としています。内科は月に2回の往診の他、週に2回看護師の往診もあります。眼科と歯科は初めに無料検診があり、必要な方は契約しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	協力医療機関である「中央林間東クリニック」の看護師が週に2回往診があり、緊急時など24時間の連絡体制も整えています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	ご入院などされた場合は、病院関係者やご家族様と密に連絡を取り合い、情報交換や相談を行っています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ご入居の契約時に重度化や終末期における対応について指針を説明しています。ご家族様の希望などが整った場合は看取りを行っています。その場合は、医師、家族、介護者の三者で話し合いを行い、看取り契約を行います。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	大和消防本部にて全職員救命講習を受講し施設内でも定期的に勉強しており実践力を身に付けています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年に2回、防災訓練を実施しています。内1回は消防署立ち合いのもとで消化器の使い方等の指導を受けています。また、自治会主催の防災訓練にも職員が参加し地域との協力体制を築いています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	言葉かけや対応に関しては定期的に勉強会を行ったり、ユニット会議や朝の申し送りの際に話し合いをし、全職員統一出来る様にしています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご入居者様の思いや希望を出来る限り受け入れられる様に心がけており、ご入居者様自身が決定出来る様に支援しています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご入居者様一人ひとりが居室にて過ごされたり食堂のソファにて過ごされたり、希望にそって支援しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	美容等の散髪にも来て頂いており、カラーやパーマなどの希望があるご入居者様に関しても行って頂いています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食事は、業者から食材が配達され温かいものは温かく、冷たいものは冷たく、美味しい状態で召し上がれるように配慮しながら提供しています。毎月、イベント食が4種類選べるようになっており、お好きなものを選んで頂き食事が楽しみになるように工夫しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	全ご入居者様の毎食の食事量や水分量も確認し記録に残しています。また摂取量が少ないご入居者様には積極的に声掛けし、摂取して頂ける様に支援しています。			
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	全ご入居者様とも、毎食後に口腔ケアを行い、口腔内の観察を行っています。また、定期的に訪問歯科の往診も受けています。			
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表を参考に一人ひとりの排泄パターンを把握し定期的な声掛けや誘導でトイレでの排泄を支援しています。おむつの方に関しては、パット交換で対応しています。			
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄チェック表にて排便観察も行い、便秘の方等には、主治医の指示を仰ぎ、下剤の内服をして頂き便秘の予防に取り組んでいます。			
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	週に2回入浴支援をしています。リフト浴も完備しており、ご入居者様全員が入浴出来ています。入浴を拒否する方には、時間や人を変えたり好きな音楽をかけたりして個々に応じた入浴を支援しています。			

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりの生活スタイルを把握し、日中に関しても食後などにも休んで頂ける様に支援しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	内服薬に関しては、主治医や薬剤師と常に連絡を取り合い、ご入居者様の体調に合わせて支援しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人ひとりの出来る事を大切にしてお手伝いやレクリエーション等も楽しんで頂ける様に支援しています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけるように支援している	コロナウイルス感染症の為、積極的な外出支援は出来ませんが、個別での散歩の対応等出来る限り外の空気に触れられる様に支援しています。また、ご家族様の協力を得て車で外出される方もいます。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	少額ですが、ご本人様ご自分で持っている方もおります。購入希望等があった場合は、ご家族様にも相談し購入しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話に関しては、各ユニットの事務所に設置しており、利用して頂いています。手紙についてもお預かりさせて頂き、投函する等支援しています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有リビングは段差もなく全居室が見渡せ開放的な空間になっています。廊下の壁には、イベント時の写真やご入居者様と一緒に作成した作品も掲示させて頂いています。また食堂内にご入居者様が寛げる様にソファを設置し居心地よく過ごせる空間作りをしています。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	各ユニットに共有スペースを確保しご入居者様一人ひとりが思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	各居室は全室個室となっており、ベッドとエアコンと防炎カーテンを完備しています。それ以外の物は一人ひとりが使い慣れた物を持ち込んで頂き、落ち着いて生活できるような空間作りを支援しています。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	一人ひとりの状態により、居室のレイアウトの変更や環境整備を行い安全かつ出来る限り自立した生活が送れる様に工夫しています。		

# 目 標 達 成 計 画

事業所

グループホーム  
ソラストつきみ野

作成日

令和3年3月24日

〔目標達成計画〕

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	3	まだ、地域の人々に向けて認知症の人の理解や支援の方法等が活かしていない。	地域の方々に今まで実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を活かす。	コロナウイルス感染症が落ち着いたら、地域の方々に向けたイベントを企画し説明会を行う。	1年
2	14	まだ、同業者と交流する機会が作れていない。	同業者と交流する機会を作る。	パソコンを使用したオンラインで交流を図る。	6か月
3	49	日常的な外出支援が出来ていない。	日常的な外出支援が出来る様にする。	コロナウイルス感染症が落ち着いたら、外出レク等も増やし、日常的な外出が出来る様に支援する。	1年

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。